

NPO法人エガリテ大手前

大阪府立大手前高校の首都圏在住の同級生が中心となって設立されたという、とてもユニークな設立経緯を持つ、NPO法人エガリテ大手前。「ソフリエ」「パ・パシエ」という独自の認定資格を生み出すなど、その活動は注目すべき内容です。

今回はメンバーの竹村泉さんにお話を伺いました。



NPO法人エガリテ大手前

竹村 泉(たけむら いずみ) さん

Profile

1954年山口県生まれ。幼稚園より大阪へ。1973年大手前高校卒業。京都大学法学部を卒業し、1980年同級生と結婚し、埼玉で専業主婦に。1987年長男出産。1991年長女出産。2004年エガリテ大手前の活動に、設立より参画。2006年福祉サービス第3者評価の調査員の資格を取得し、保育園やグループホームの調査を行っている。

◆団体概要

設立:2004年4月(NPO認証:2005年10月)

代表者:古久保俊嗣

事業内容:

- ①男女共同参画社会の形成に関する調査・研究事業
- ②次世代育成支援対策推進法が定める行動指針、行動計画の評価及び公表事業
- ③男女共同参画社会の形成に関わる広報・出版事業
- ④男女共同参画社会の形成に関わる講演事業

主要メンバー:

主婦や会社員を中心に、大学教員、医師、薬剤師、看護師、助産師、弁護士、公認会計士、税理士、産褥ヘルパー、消費生活アドバイザー、シンクタンク研究員、社会福祉士、介護福祉士、統計学専門家、証券・経済アナリスト、衛生管理士、中小企業診断士、福祉サービス第三者評価調査員、宅地建物取扱主任、フードアナリスト、建築士、測量士など幅広い層からの参加を得ている。

設立の経緯について教えていただけますでしょうか。

2003年に開催された、大阪府立大手前高校の首都圏在住同窓会の準備がきっかけでした。月に1回集まって準備をし、ミラコスタホテルにて、非常に満足度の高い同窓会を開催することが出来ました。準備で集まるメンバーたちの中で感じたのは、

高校生の心を忘れていないこと、卓越した企画力・実行力・チームワークがあること、専門家集団であること、たよりになる仲間たちだ、ということでした。子どもたちが巣立った今、互いの問題意識を活かして何か社会貢献が出来ないかを話し合った結果、男女共同参画のNPOを立ち上げよう、ということになったのです。第一回の会合には、10名が集まりました。

大手前高校の前身は、大阪府立で初めての女学校で、そのためか出席番号は女子全員の後に男子が続く、という伝統があり、早い時期から男女共同参画への意識が芽生えていたように思います。しかし、実際に社会に出ると、大学を出た女性の就職は、非常に厳しい時代でした。同窓会の準備で集まったメンバーの女性たちは、専業主婦か非正規雇用の仕事が多く、正社員で働き続けているのは、外資系の一人だけ。男女ともに人間らしい生活が出来るにはどうしたらよいだろう、という問題意識もあったのです。

同窓会の開催がきっかけとは、とても素敵です！設立の趣旨について、もう少し詳しくお聞かせください。

少子高齢化が急速に進む中で、男女共同参画社会の形成は、日本の今後の発展のための最重要課題です。しかし、各種の法規制や制度導入は進められているものの、女性を取り巻く環

境は十分なものとはいえません。育児休暇や介護休暇の取得率、保育所の待機児童数、子育てセンターの利用率などを見ても、制度やシステムの改善に加えて、その普及定着化と、女性を取り巻く社会の意識変化が求められています。

ところが、日本の官庁や企業での不祥事の内部告発が後を絶たないことを見ても、組織による自浄・改善機能だけに期待することは難しく、社会の適正な監視や牽制が求められています。エガリテ大手前では、次世代育成支援対策推進法により自治体や企業などが作成する「行動指針」「行動計画」の評価などの調査・研究を行い、公表並びに、広報・出版、講演を行うとともに、あわせて行政や企業などへ提言を行うことで、男女共同参画社会の形成促進に寄与することを目的としています。ついでには、この活動に、客観性、中立性、良識性、かつ非営利性が求められるため、NPOとするものです。



エガリテ大手前のすてきなメンバーたち

具体的な活動について、教えてください。

代表的な活動としては、毎年発表する「次世代育成環境ランキング」があります。次世代育成環境(出産、乳幼児保育、児童福祉、児童養護、児童保育、母子福祉、小児医療など)は自治体間に格差が見られます。次世代育成支援対策推進法によって提出が義務付けられた「行動計画」(自治体、従業員301名以上の事業主による)についても、取組姿勢に差があると思われます。市民による健全な監視役として、各都市の環境評価を行うことで、自治体の動機付けとなるとともに、一般市民の意識向上に寄与したいと考えたものです。

調査対象は、東京23区、政令指定都市と中核市の合計79都市です。

2010年度(2011年5月発表)の結果について、もう少し詳しく教えてください。対象自治体の5ヶ年の目標とその進捗実績はいかがでしょう。

通常保育、延長保育、一時保育(緊急)、ファミリーサポート(ヘルパー・利用者数など)、つどいの広場では、目標をほぼ達成しています。しかし、夜間保育、休日保育、病後児・病児保育、

ショートステイ、トワイライトステイ、地域子育てセンターに目標未達成が見られます。特に、休日保育、特定保育、病後児・病児保育、ショートステイ、トワイライトステイについては、高い目標設定をしましたが、達成できていないことがわかりました。

	目標(%)	実績(%)
通常保育	116	145
延長保育	128	91
夜間保育	159	27
休日保育	366	61
一時保育(緊急)	168	95
特定保育	718	169
病後児・病児保育(施設型)	235	69
学童クラブ	115	132
ショートステイ	233	72
トワイライトステイ	518	59
ファミリーサポート	172	130
地域子育て支援センター	203	52
つどいの広場	126	265
左記指標合計	255	109

項目別に評価の高かった自治体を教えてください。

以下の表に示す通りです。

	主要56市	東京23区
保育所定員	福山市	千代田区
延長保育	大分市	北区
夜間保育	さいたま市	墨田区
休日保育	富山市	練馬区
病後児・病児保育	名古屋市	目黒区
学童クラブ	高松市	新宿区
ショートステイ	浜松市	杉並区
トワイライトステイ	浜松市	杉並区
ファミリーサポートセンター	長崎市	千代田区
地域子育て支援センター	川崎市	練馬区
つどいの広場	西宮市	江東区

読者の関心の高い乳幼児保育については、項目別に優れている都市を教えてください。

保育所施設数：新潟、京都、青森、福山

保育所定員数：新潟、岡山、高知、福山、金沢

0歳児保育：京都、岡山、宮崎、青森、秋田

常勤保育士数：新潟、岡山、高知、金沢、宮崎

延長保育：横浜、千葉、青森、宮崎、盛岡

休日保育：岡山、大阪、宮崎、富山、松山

病後児保育：大阪、岡山、下関、宮崎、高松

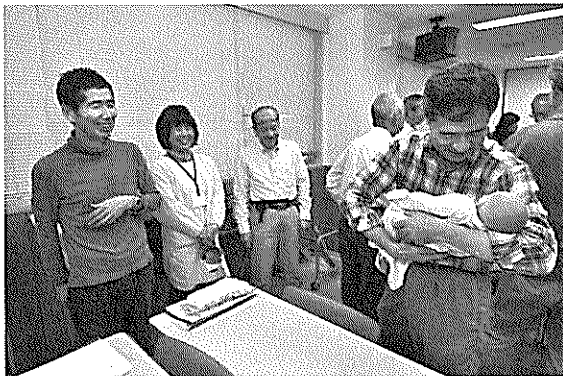
以上の都市が優れていることがわかりました。

本調査の結果から、子育て環境の整備が進む岡山と宮崎に「優秀環境賞」を贈りました。

男性高齢者の孫・ひ孫育ての参加を促す「ソフリエ」という独自の認定資格を作られたとのこと、内容をお聞かせください。

首都圏の出産育児世代女性(20~40代)と孫育て支援世代(40代以上)に調査を行いました。そこでわかったのは、60代以上の男性の8割が孫育てに参加したいと思っていることでした。この世代は、高度経済成長期に社会へ飛び出し、仕事一筋に歩んで来た男性がたくさんいます。「育児は妻に任せっきりだった」という自身の経験が孫育てへの不安となり、諦めにつながっているのかもしれませんが、孫育てに参加したいものの、不安を感じているおじいちゃん。おじいちゃんに育児支援を期待する母親。両者をつなぐことで、社会も家族ももっとうまく回転し始めるはず。そこで「ソフリエ」が誕生しました。

ソフリエとは、沐浴やおむつ交換の方法など、基本的な育児方法の知識・技術を身につけた祖父のことを言います。エガリテ大手前が開催する講座を受講した方を、有資格者として認定しています。自分たちだけでは難しい部分もあるので、自治体と共催で講座を開催しています。第一回は、2010年2月から3月にかけて、北九州市で「男2代の子育て講座」を開催しました。ここでは、「ソフリエ」だけでなく、男性の子育て参加を促す資格「パパシエ」の授与も行いました。受賞式では、北九州市長からの認定賞授与、講座関係者による座談会、読み聞かせ講座などが行われ、90名の一般市民も参加し、世界初の資格認定を祝いました。



男2代の子育て講座にて、抱っこの実習中



講座では、離乳食作りも行います

3つのソフリエールがあるとのことですが。

「親の方針が絶対」「親とのコミュニケーションを大切に」「育児を楽しむこと」の3つです。おばあちゃんも対象にした講座では、さらに3つのルールを加えています。「子どもの利益を第一に」「母親を追い込まない」「文化の継承」です。

今後、力を入れていく活動について教えてください。

9月に「エガリテ市民大学」を開講しました。「講座をやりたい!」「教授になりたい!」という人が、自分が何を出来るのかを登録し、それを見て、自治体などから「この人に来てもらいたい」という声が届けば、その人を仲介するという仕組みです。コンセプトは「どこでもキャンパス、全員教授」です。生涯教育は、大切なテーマの一つです。人に教えるためにはセミナーを受講したり、必死で勉強すると思います。

私自身も、人前でしゃべらななきゃいけない機会が多くなり、ずいぶん変わった、と感じています。いろんな人と知り合うことで、世界が広がりました。男性の本音を聞く機会も出来ました。エガリテ大手前の中でも勉強会をして、常に新しい知識を身につけていかないと...と思っています。

男性も、定年後に今までと違う世界を開拓して行って欲しいものです。ソフリエの先に、男性の地域デビューへの手助けが出来たら...とも思っています。



エガリテ大手前の打ち合わせでは、いつも活発な意見が



「祖父、ソフリエになる」

編者：NPOエガリテ大手前

発行：メディカ出版

定価：1,200円+税

ありがとうございました。高校の同窓生が、お互いの仕事を離れて、目的に向かって力を合わせる。そして、その活動が、社会にとって大きな意義がある。とても素敵なことだと感動しました。これからもNPOエガリテ大手前の活動から、目が離せません！（上田）